

PRO MIXER SERIES VMX1000USB/VMX300USB/ VMX200USB/VMX100USB

Professional 2/3/7-Channel DJ Mixer with
USB/Audio Interface, BPM Counter and VCA Control

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

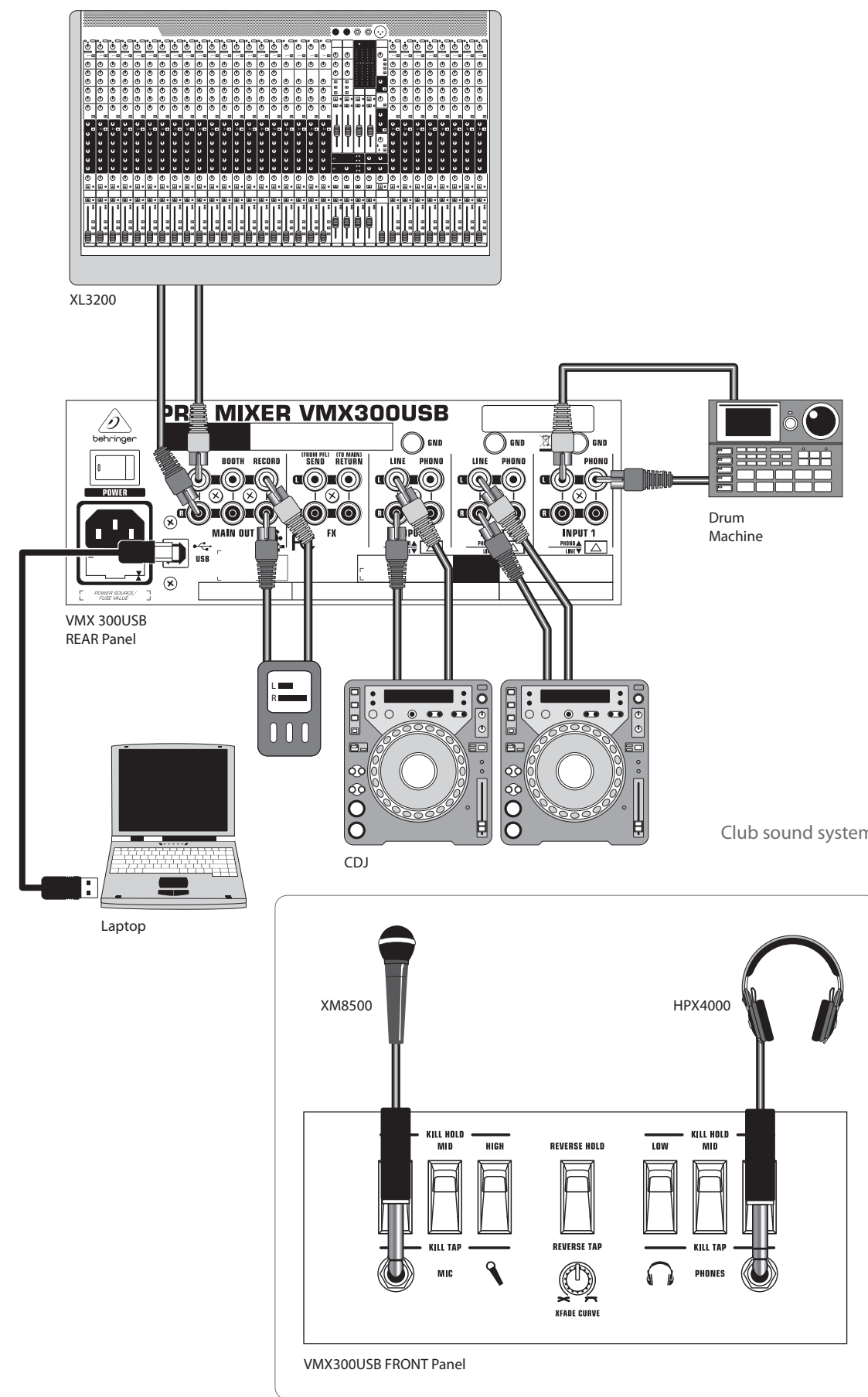
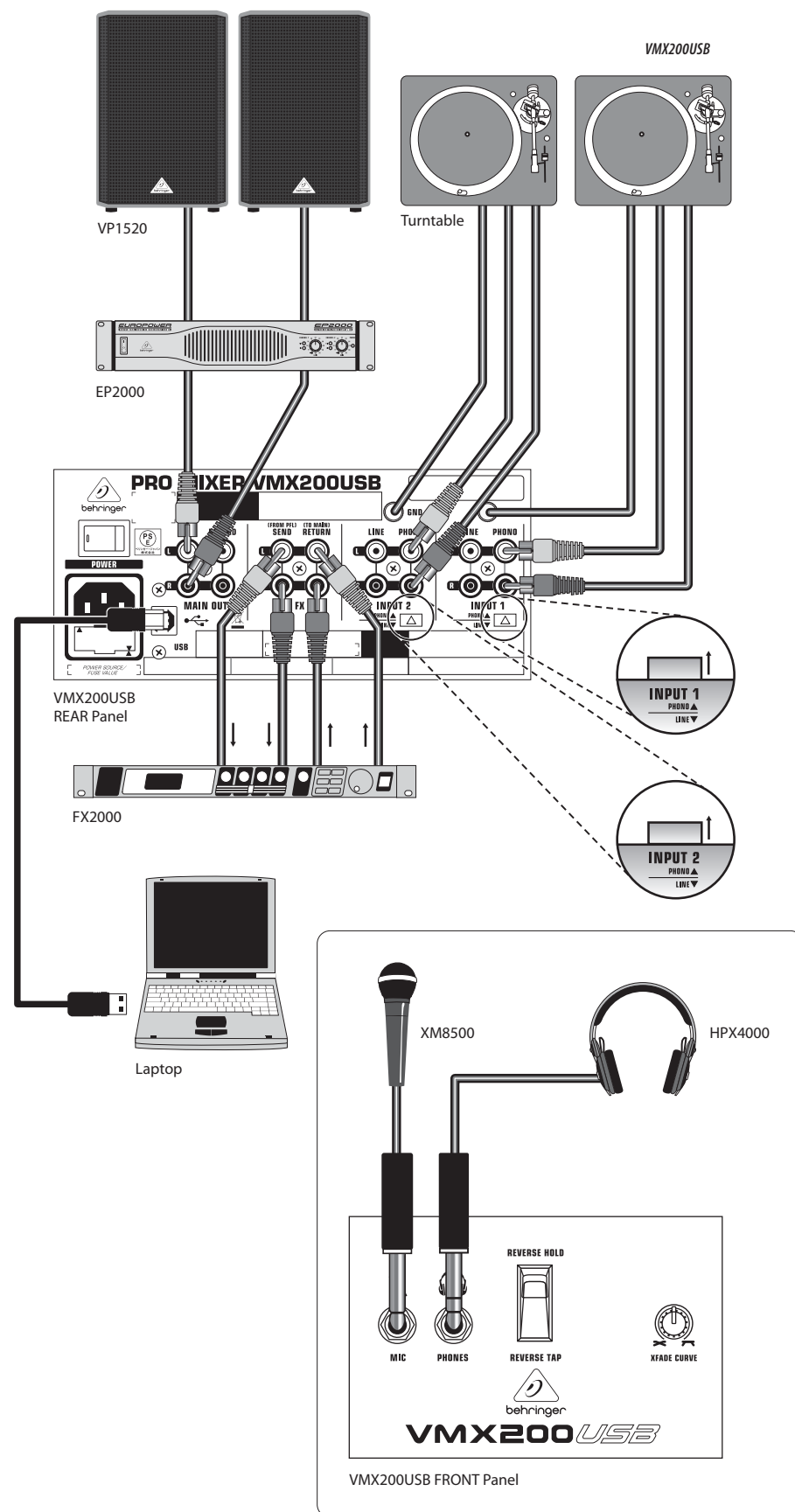
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

PRO MIXER SERIES VMX1000USB/VMX300USB/VMX200USB/VMX100USB フックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ



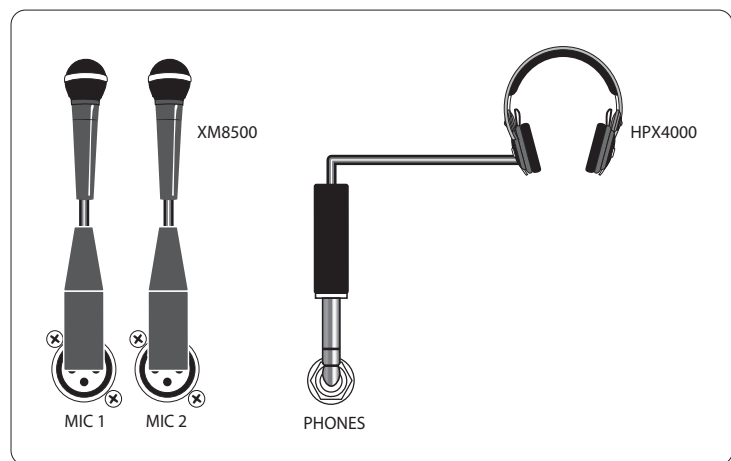
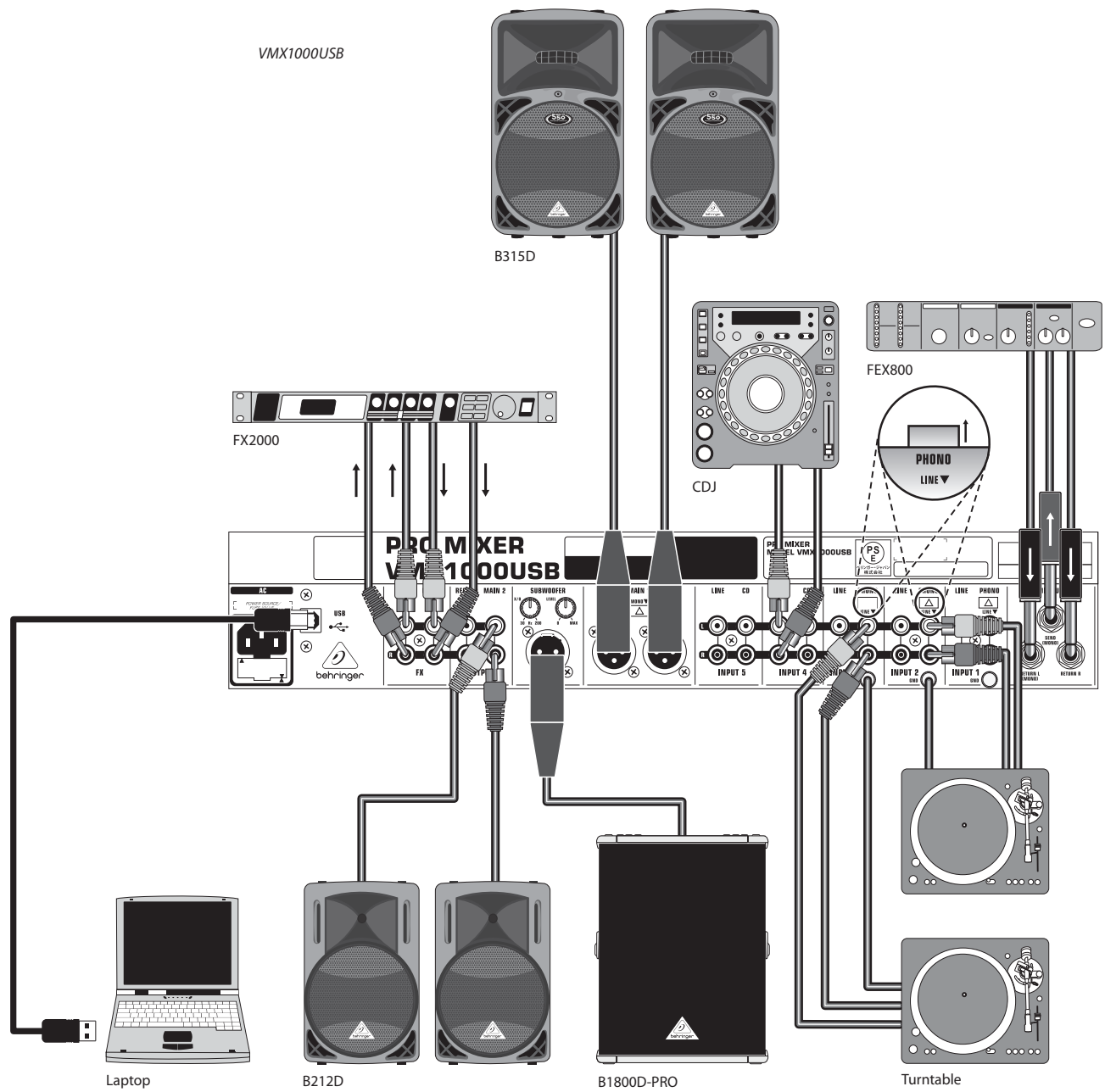
PRO MIXER SERIES VMX1000USB/VMX300USB/VMX200USB/VMX100USB フックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ

VMX1000USB

VMX1000USB



PRO MIXER SERIES VMX1000USB/VMX300USB/VMX200USB/VMX100USB コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

PHONO/LINE スイッチで、チャンネルのオーディオソースを選択します。

GAIN ノブは、入力信号レベルを調整します。

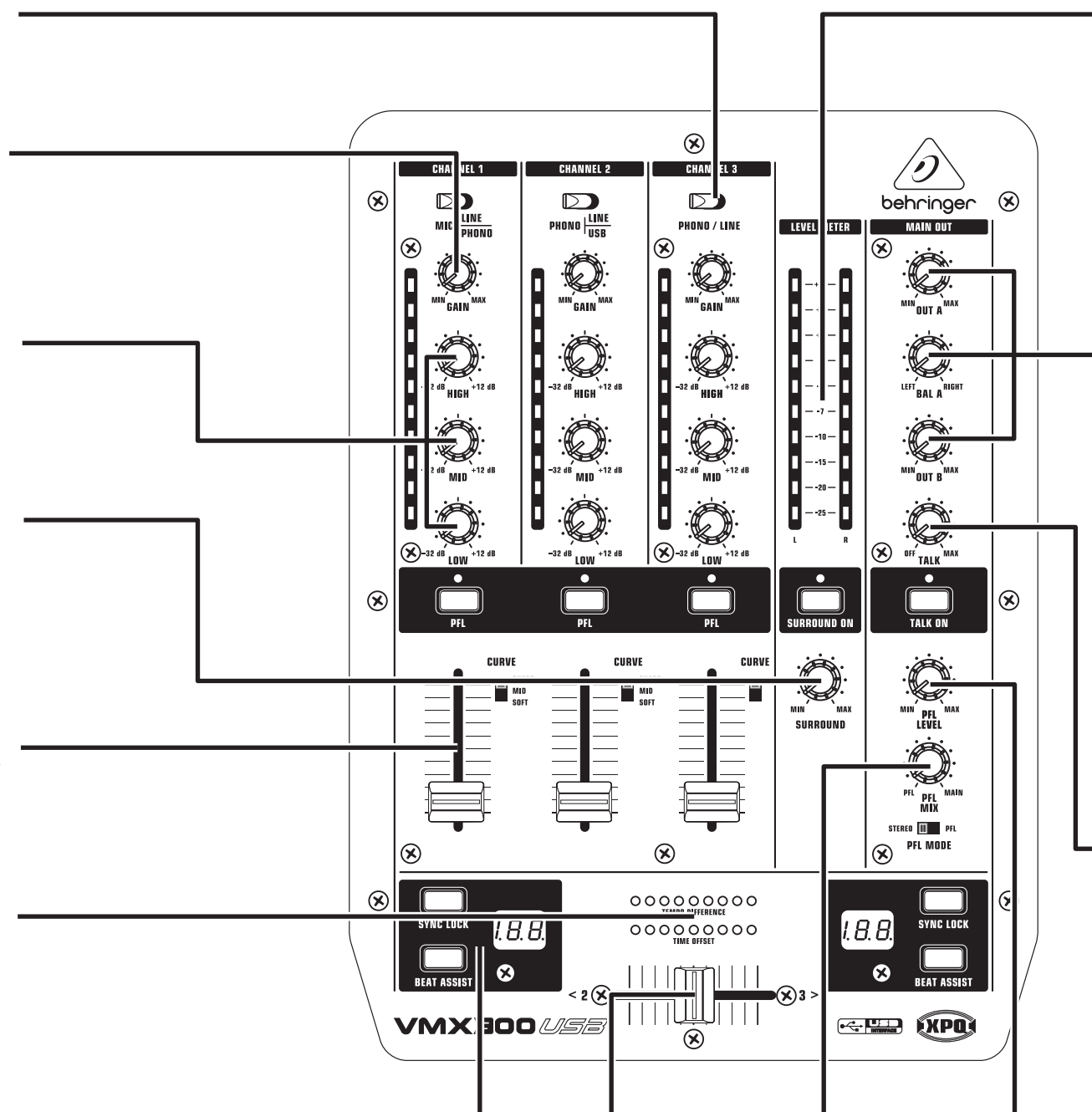
EQ ノブは、チャンネルの高、中 (VMX300/1000) および低周波数を -32 dB または +12 dB まで調整します。

(XPQ) SURROUND ノブは、ミックスのステレオエンハンスメントの量を調整します。この効果を実行するには、隣接したボタンを押します。

CHANNEL フェーダーは、チャンネルの音量を調整します。音量の変化量は CURVE スイッチで設定します。

TEMPO DIFFERENCE および **TIME OFFSET LED** (VMX100/200/300) は、オーディオソース間のテンポおよびビートの同期の違いを表示します。

BEAT COUNTER セクションは、スムーズにクロスフェードできるように、オーディオソースに同期する支援をします。詳細は、はじめにのステップ 7 を参照してください。



LEVEL METER は、VMX300/1000 では MAIN OUT 信号レベルを表示します。VMX100/200 では、MAIN/PFL ボタンを押して信号の表示を選択します。

MAIN OUT (レベル) ノブは、メイン出力の音量を調整します。VMX300/1000 では、OUT A および B は、それぞれ AMP および BOOTH/MAIN 2 出力のレベルを調整します。BAL A は、OUT A 信号のステレオバランスを調整します。

TALK ノブは、マイクロフォンに話したときに、声がクリアに聞こえるように、音楽の音量減少の量を設定します。この効果を実行するには、TALK (ON) ボタンを押します。

CROSSFADER は、音源間でフェードを行います。クロスフェードの勾配を決定するために、CROSSFADER CURVE ノブを使います

PFL MIX ノブは、VMX100/200 ではチャンネル 1 と 2 の間、VMX300/1000 では PFL と MAIN 信号の間をフェードします。MODE スイッチが SPLIT に設定されている場合、信号は左右の耳で別々に聞こえます。

PFL LEVEL ノブ (プリフェーダー試験) は、ヘッドフォンミックスの音量を調整します。PFL ミックスで試験したいチャンネルそれぞれの PFL ボタン (VMX300/1000) を押します。

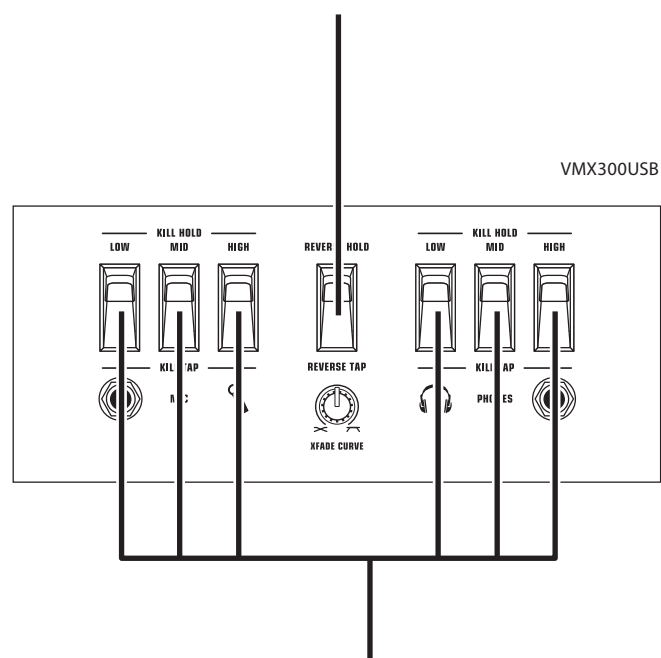
PRO MIXER SERIES VMX1000USB/VMX300USB/VMX200USB/VMX100USB コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

REVERSE HOLD/TAP

スイッチは、クロスフェーダーの方向を反転して、オーディオソース間の切り替えを迅速にします。スイッチを下に押したままにしておくと、離すまで効果が持続します。スイッチを上に入れると、再度下に戻すまで、効果が持続します。



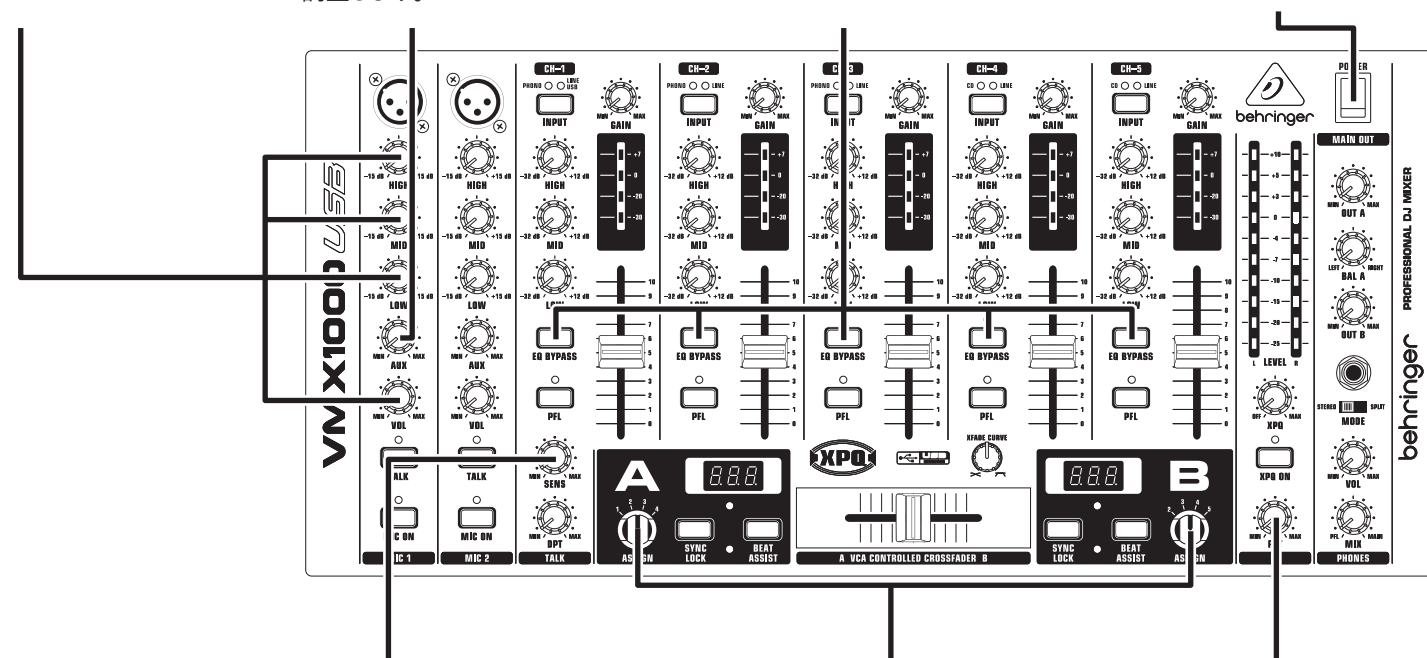
KILL HOLD/TAP スイッチ (VMX300 のみ) は、高、中および低周波数を 32 dB 減少させます。スイッチを下に押したままにしておくと、離すまで効果が持続します。スイッチを上に入れると、再度下に戻すまで、効果が持続します。

MICINPUT ノブは、マイクロフォン入力用の EQ および音量を調整します。ON ボタンは、マイクロフォンをオン・オフします。

MIC AUX ノブは、MIC AUX SEND ジャックのそれぞれのマイクロフォン信号レベルを調整します。

EQ BYPASS ボタンは、EQ ノブの動作を停止させます。

POWER スイッチは、電源をオン・オフします。このスイッチは、VMX100/200/300 のリアパネルにあります。



SENS ノブは、TALK 機能を実行するのに必要なマイクロフォン信号の音量を調整します。隣接している DPT ノブは、音楽の音量減少をコントロールします。

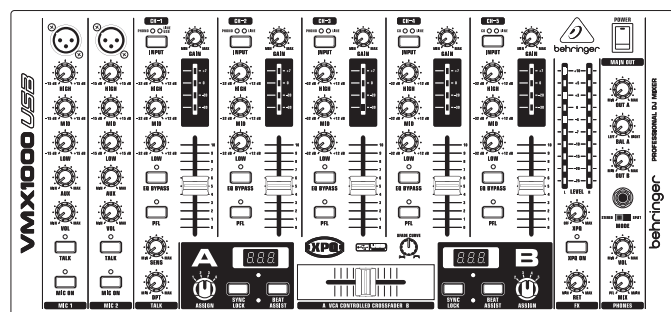
ASSIGN ノブ A および B は、CROSSFADER のそれぞれの側のオーディオソースを選択します。

FX RET ノブは、メインミックスに含まれる MIC AUX RETURN ジャックからの信号の量を調整します。

PRO MIXER SERIES VMX1000USB/VMX300USB/VMX200USB/VMX100USB はじめに

JP

ステップ 3: はじめに



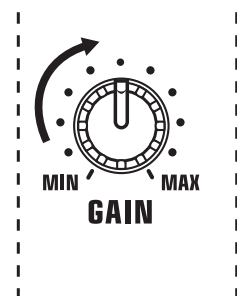
1 ミキサーの電源、オーディオ、USB およびスピーカの接続を適切に行います。すべてのデバイスの電源はオフのままにしておきます!

2 MAIN OUT ノブを一番低い位置に設定して、ミキサーをオンにします。

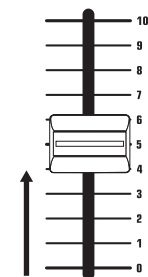
3 オーディオソースをオンにして、オーディオの再生を始め、ミキサーに入力します。

4 適切なレベルまで MAIN OUT および PFL/PHONES ノブを上げます。

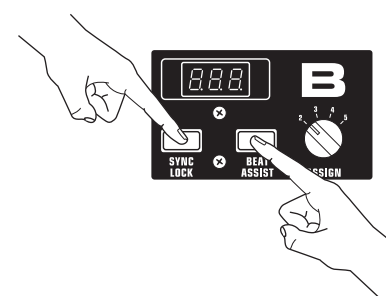
5 信号を受信しているそれぞれのチャンネルの GAIN ノブを上げます。チャンネルメーター (VMX300/1000) の赤いクリップ LED がどれも点灯したら、GAIN ノブを下げます。VMX100/200 では、オーディオの歪みが聞こえたら、GAIN ノブを下げます。



6 それぞれの CHANNEL フェーダーを上げてオーディオソースの相対レベルを調整します。

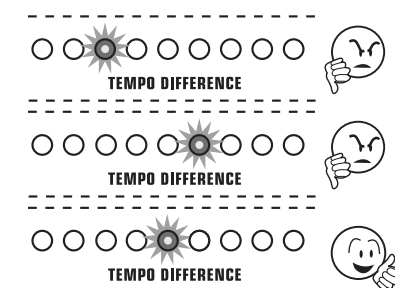


7 選択されたオーディオソースのテンポ (BPM) が、Beat Counter ディスプレイに表示されます。表示されたテンポがすぐにジャンプしてしまうことを避けるには、SYNCLOCK ボタンを押します。主導でテンポを入力する (例えば「タップテンポ」) には、音楽のリズムに合わせて BEAT ASSIST ボタンを押すこともできます。

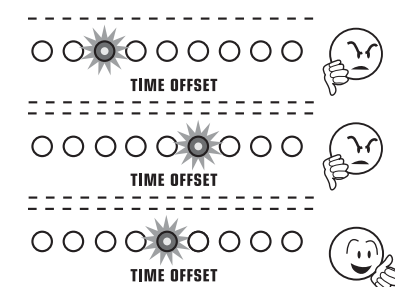


8 それぞれのソースのテンポがロックできたら、テンポがマッチしているかどうか

TEMPO DIFFERENCE LED で確認できます。メータは、早いほうのソースの方向に点灯します。緑の LED が点灯すると、テンポがマッチしています。



9 テンポがマッチした場合でも、それぞれのソース間でビートが完全に同期しているわけではないかもしれません。オーディオが同期されていないソースの方向に向かって TIME OFFSET LED が点灯します。緑の LED が点灯すると、オーディオは同期しています。



10 SYNCLOCK を終了するには、それぞれのソースの SYNCLOCK ボタンを押します。

JP

技術仕様

	VMX1000USB	VMX300USB	VMX200USB	VMX100USB
オーディオ入力				
マイクイン	バランス XLR、40 dB ゲイン	¼" TRS、46 dB ゲイン	¼" TRS、40 dB ゲイン	¼" TRS、53 dB ゲイン
フォノイン	不平衡 RCA、40 dB ゲイン			
ラインイン	不平衡 RCA、0 dB ゲイン			
戻る	不平衡 RCA、0 dB ゲイン	不平衡 RCA、0 dB ゲイン	不平衡 RCA、0 dB ゲイン	—
マイク補助リターン	¼" 不平衡、3 dB ゲイン	—	—	—
オーディオ出力				
メインアウト (A)	最大 25 dBu、バランス XLR	最大 +21 dBu @ +5 dBu (ライン入力)	最大 +21 dBu @ +10 dBu (ライン入力)	最大 +21 dBu @ +15 dBu (ライン入力)
メインアウト B	最大 21 dBu、不平衡	—	—	—
ブース	—	最大 +13 dBu	—	—
テープアウト	通常 0 dBu			
送信	—	—	—	—
マイク補助送信	-∞ ~ +6 dBu	—	—	—
電話をかける	最大 180 mW @ 75 Ω	通常 125 mW @ 1% THD	通常 125 mW @ 1% THD	通常 125 mW @ 1% THD
サブウーファー				
サブウーファーアウト	バランス XLR	—	—	—
X-Over	可変 30-200 Hz	—	—	—
レベル	-∞ ~ 0 dBu @ 0 dB 入力	—	—	—
イコライザ				
ステレオロー	+12 dB / -32 dB @ 50 Hz			
ステレオミッド	+12 dB / -32 dB @ 1.2 kHz	+12 dB / -32 dB @ 1.2 kHz	+12 dB / -32 dB @ 1.2 kHz	—
ステレオハイ	+12 dB / -32 dB @ 10 kHz			
マイクロ	+15 / -15 dB @ 80 Hz	+12 / -12 dB @ 50 Hz	+12 / -12 dB @ 50 Hz	—
マイクミッド	+15 / -15 dB @ 2.5 kHz	—	—	—
マイクハイ	+15 / -15 dB @ 12 kHz	+15 / -15 dB @ 12 kHz	+15 / -15 dB @ 12 kHz	—
キルロー	—	-54 dB @ 50 Hz	—	—
ミッドを殺す	—	-44 dB @ 1 kHz	—	—
ハイキル	—	-26 dB @ 10 kHz	—	—
USB				
オーディオ	ステレオイン/アウト			
コネクタ	タイプ B			
コンバータ	16 ビット			
サンプリングレート	48 kHz			
システム仕様				
信号対雑音比	> 80 dB (ライン)	> 85 dB (ライン)	> 86 dB (ライン)	> 88 dB (ライン)
クロストーク	< -70 dB (ライン)	> 77 dB (ライン)	> 77 dB (ライン)	> 67 dB (ライン)
歪み (THD)	< 0.05%	< 0.05%	< 0.06%	< 0.025%
周波数応答	20 Hz ~ 20 kHz			
入力ゲイン調整	-20 dB ~ +9 dB			
電源				
主電源電圧				
アメリカ/カナダ	120V ~、60 Hz			
UK / EU / SAA / CCC	230V ~、50 Hz			
日本	100V ~、50 ~ 60 Hz			
消費電力	22 W	最大 22 W	最大 13 W	最大 10 W
ヒューズ	100-120 V ~ : T 500 mA H 250 V 220-230 V ~ : T 250 mA H 250 V	100-120 V ~ : T 500 mA L 250 V 220-230 V ~ : T 315 mA L 250 V	100-120 V ~ : T 400 mA L 250 V 220-230 V ~ : T 250 mA L 250 V	100-120 V ~ : T 160 mA L 250 V 220-230 V ~ : T 80 mA L 250 V
主電源接続	標準 IEC レセプタクル			
寸法/重量				
寸法 (H x W x D)	107 x 223 x 483 mm (4.2 x 8.8 x 19.0")	90 x 241 x 349 mm (3.5 x 9.5 x 13.7")	90 x 203 x 298 mm (3.5 x 8 x 11.7")	72 x 203 x 229 mm (2.8 x 8 x 9.0")
重量	3.7 kg (8.1 ポンド)	3.4 kg (7.5 ポンド)	2.7 kg (6.0 ポンド)	2 kg (4.4 ポンド)

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

JP

We Hear You